

「ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト」

読書活動支援者育成事業 地区別研修

主催：福島県教育委員会

# 読書ボランティア研修会

目的：学校や図書館で活躍する読書推進ボランティアの専門的な知識や技能の向上を図る。

実施日：平成30年9月14日（金） 10：20～15：30

場所：福島県立図書館（福島市森合字西養山1番地）

参加者：70名

## 第1部

10:30～12:00

### 演習「伝わる喜び！個性が生きる読み聞かせのために」

KOTOSE 音読教室代表取締役

佐藤くみこ 氏

#### 1 はじめに

- 子どもの音読の宿題を楽しくやらせたいと思い、音読教室を始めたのがきっかけである。そこから高齢者対象の脳活音読、母親対象の朗読教室、滑舌トレーニング教室と広がっていった。教室を始めて、今年で13年目になる。



#### 2 滑舌トレーニングの効果

- ①脳によい刺激が伝わり、認知症の予防になる。また、舌や喉の筋肉が鍛えられ、噛む力や飲み込む力がつき、誤嚥防止になる。
- ②声を出すことを楽しむことで身体全体の不調が予防され、元気がつながっていく。
- ③一音一音聞きやすくなり、相手に音が伝わるようになる。その伝える喜びは、「声の輪」作りへと広がっていく。

#### 3 滑舌力（「外郎売」の演習を通して）

- 息の量が少ないと声が出ない。息の量を倍にすると、音が出るようになる。声を張って、息をたくさん吐くようにするとよい。
- 「外郎売」は滑舌トレーニングに効果的なテキストになる。文章の意味も勉強しながら練習すると言いやすくなる。滑舌力が備わっていくと、聞き手は話しに惹きつけられる。

#### 4 声の表情（「どんぐりと山猫」の演習を通して）

- 「あ」という一音でも、読み方によって一人一人声の表情が違う。嬉しい「あ」もあれば、悲しい「あ」もある。何度も絵本を読み込んで、自分の思いを持って、話の情景や登場人物の心情を伝えたい。
- 宮沢賢治の「どんぐりと山猫」のはがきの場面を、山猫と一郎どちらの立場で読むかによって、声の表情が変わってくる。物語に登場する栗の木の大きさも、声というフィルターを使うことによって表現できる。

#### 5 まとめ

- 挿絵によってイメージが変わるように、同じ物語でも読み手一人一人の個性を活かして読み聞かせすることも必要である。表情豊かに読んでしまうと想像力を阻害するという意見もあるが、読み手が感じたことを自分の声を通して伝えることで、子どもたちの想像力を補助する役割を果たしてほしい。

#### 【参加者からの声】

- 午前中の演習では、滑舌の大切さがよくわかりました。練習の仕方も参考になりました。登場人物や動物などの心情等をよく読み込んで、自分の感覚で読み取り、読み聞かせで子どもたちに向けて表現したいと思います。演習形式で楽しかったです。

## 第2部

13:10~15:20

# 講義及び演習「対象年齢に合わせた選書

～適切なタイミングに適切なことばで～

JPIC 読書アドバイザー 児玉 ひろ美 氏

### 1 読み聞かせ

- 子どもが本と出会うためには、大人の関わりが必要である。子どもへの読み聞かせから本と出会う機会づくりをしてほしい。
- 読み聞かせは、「子どもファースト」で読み聞かせをしてほしい。自分の思いに偏らず、臨機応変に対応してほしい。
- いつまでも読み続けられるロングセラー絵本は、できればきれいな状態で子どもの手に届けたい。
- ネット上の絵本評価は参考にするが、鵜呑みにはしない。自分で読んで納得のいく本を読み聞かせてほしい。



### 2 絵本について

- 表紙から裏表紙までが絵本の表現である。また、21世紀以降、様々な素材が使われている。
- バリアフリーを目的として、絵を隆起させているものもある。また、世界的に見ると登場人物の肌の色が違うことは、一般的になってきている。

### 3 心身の成長に寄り添う本

- 日本の赤ちゃん絵本は、世界をリードしている。
- それぞれの赤ちゃんによって、成長のスピードには個人差がある。だから、焦らずに成長に寄り添った読み聞かせをしてあげたい。
- 赤ちゃん絵本は、読む人とその子の関係や月齢によって読み方も変わるものである。また、子どもに向かって話しかけるように読んであげるとよい。

### 4 昔ばなし絵本について

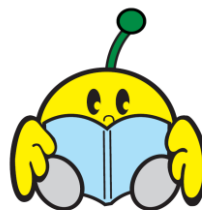
- 大切な場面を残酷としてカットしている作品が目立つが、きちんとした昔ばなしはその表現に何の問題もないはずである。作品を選んで子どもに手渡してほしい。

### 5 演習

① ワークショップ1：折り本

② ワークショップ2：1枚モノのしかけ絵本

- 参加者は、それぞれの思いを表現した折り本しかけ絵本を作り、互いに見せ合いながら楽しくワークショップを行っていた。



#### 【参加者からの声】

- 実際の活動にすぐ使える参考になる内容でした。ワークショップが苦手だったのですが、楽しく身につけることができたのでよかったです。
- 今回の講義及び演習は、今携わっている現場で実践できる内容でした。感謝しています。
- 児玉先生の研修会に受講するたびに後押しされている気持ちになります。ありがとうございます。